

行事案内



平城京天平祭春 2019

『ものづくり広場』出展参加

天平祭実行委員会よりの申し出を受け、昨年に引き続き、平城京天平祭・春 2019『ものづくり広場』に下記内容にて出展参加いたします。

1. 日時：5月4日(土)・5日(日)10～16時30分
2. 場所：世界遺産・平城宮跡内
朱雀門ひろば(二条大路西側)
3. 出品：楽しい自然工作(鯉のぼり、ジュズダマ、ブレスレット) 1日各100セット
4. スタッフ募集：
5月4日、5日、それぞれ15名のスタッフを募集いたします。
(連絡先：辻本携帯：090-4450-8459)

5. 雨天決行

ただし、気象警報発令などにより、開催が困難な場合は、主催者の判断で中止を決定。

『ものづくり広場』では、平城京天平祭にたくさんの子供たちや大人に来ていただき、ものづくりの大切さ・楽しさを体験し、学んでいただきます。当会では、趣旨に賛同し、子供たちの創造力を育み、お父さん・お母さんと一緒にものづくりを楽しんでもらえる出展をめざします。ぜひ皆さんもご家族と一緒にお願いします。

5月ならやま活動&行事予告

- * **ならやま活動 (木)**
5月2日 協働活動日・アダプトプログラム
- * **歴史文化クラブ (マイクロバス)**
5月14日(火) 馬見古墳群と橿原市博物館
馬見古墳群と新沢千塚古墳群を歩く
- * **自然教室 (自然観察会)**
5月20日(月) 新緑の歌姫街道・佐紀古墳群
- * **イベント 天平祭参加 (上記に案内記事)**
5月4日(土)・5日(日)



坂東 久平

薬師寺・東塔水煙

国宝薬師寺東塔の解体修理は、2011年に工事が始まり、2012年には塔頂にあった相輪が地上に降ろされた。実に60年ぶりのことである。

塔本体の調査・修理と並行して、相輪の調査が行われ、現状でも使用可能であるが、次回の解体修理(300年後と予想される)までは保たないことが分かった。

今回は、水煙4面と擦管(さつかん)1個とが新調され、2月8日に新旧・水煙と擦管の公開と、製作にたずさわった村上隆氏(京都美術工芸大学 副学長)の講演が行われた。



なお、一般公開は薬師寺にて「東塔水煙降臨展」として、3月1日から10日まで行われた。

水煙の製作年代については、今も専門家の中で、「本薬師寺から移された」「薬師寺が平城京に移されたときに新たに造立された」と見解が分かっている。

復元にあたり、現状保全の理念に基づく修理を行い、修理不可の場合は理念に基づき新調し現物は別途保存をすることになった。

調査は、最新技術を駆使した多岐にわたり、X線ラジオグラフィ、蛍光X線、構造分析、3Dデジタル計測、ICP発光・ICP質量分析による材料の組成、Spring-8による含有金属の組成や結晶形分析が行われた。主な組成は、銅93.8%、スズ2.8%、ヒ素2.4%、銀2.0%などと判明した。

この過程で製作の技法なども解明された。これらの結果を基に、高岡の鋳造所にて新たな水煙と擦管が造立され、色相も塗装ではなく自然発色で現状に近くなるよう工夫された。

(註) 擦：塔の中心の柱、塔の落慶は2020/4/22